

ケースの概略

夫 60 歳代後半（統合失調症）で、同じく妻（左半身まひ、精神科通院歴有）も 60 歳代後半、長女の 3 人暮らし。ある日、夫が家で電気を交換中に椅子から落ち、腰椎骨折で入院中。入院中に医療費の支払いと生活について妻から病院の MSW に相談があったことから、夫の介護保険申請を機会に包括を経由して金銭的に生活が苦しい状態（滞納や借金があるため）にあるということで自立相談支援機関へつながった。長女は、県外にて住み込みで働いているため、非協力的とのこと。次女は、隣市に嫁ぎ、嫁ぎ先に遠慮し、夫婦とは疎遠な状態。近隣は、夫が義父とのトラブルから精神科に措置入院した経歴があることから、疎遠な状態となっている。

今後、退院後の生活のこと、入院費や生活費のことについて心配なことが山積みとなっている。

◆現在わかっていること

【夫】

- ・精神科病院へ定期的に受診（過去に義父に暴力を振るい、措置入院、現在は安定している）
- ・厚生年金月 9 万円。年金担保の借金（20 万円）、入院費の滞納（10 万円）
- ・移動手段は自家用車。（医師からは、運転を止められている）
- ・市外に兄がいるが、入院中限定で妻の病院への送迎を行っている（関係は良くない）
- ・リハビリを行い、自力歩行はできるが見守りが必要。（入浴等）
- ・趣味は、テレビで相撲や野球観戦をすること。
- ・外出は、たばこを買いにスーパーへ行く程度。

【妻】

- ・精神科受診歴あり：病名不明（現在は通院していない）
- ・15 年前に脳梗塞を患い、左半身まひ。（月 1 回通院）ADL は自立
- ・障害年金 8 万円。消費者金融に借金が 80 万円あり、年金支給月に 2 万円ずつ返済（元金は 4 千円程ずつしか減らない：金利は法定金利内）
- ・運転ができないため、常に夫と一緒に行動している。
- ・外出時は、化粧をし、身なりに気を付けている。人の好き嫌いがはっきりしている。
- ・買い物は、近所の商店を利用。（主に、おかず類）好きなお菓子は、スーパーで買いたい。
- ・妻の父は、元公務員（市）で、退職後は、民生委員を務めていた。

【子】

- ・長女は、県外で住み込みで働き月 14 万円程度の収入。不定期で帰宅している。
- ・次女は、嫁ぎ先に気を使い、連絡をとっていない。

【周囲】

- ・元自治会長の妻が妻のことを気にかけているが具体的な関わりはない。その他の近隣住民との関わりはない。
- ・地区社協があり、ふれあいサロンや見守り活動であるケアネット活動、買い物・外出支援（月 1 回）を実施している。

【講義と演習⑤】個を支える地域づくり（前半）

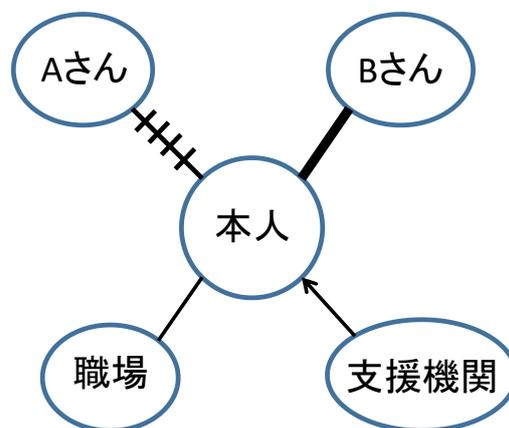
■個人ワーク エコマップの作成について解説

中心に本人を置き、その周りに関係性のある人物や機関を配置して、関係性を線でつなぎます。

【関係性の線】

強い関係	—————
普通の関係	—————
弱い関係
対立関係	+++++
働きかけの方向	—————>

【エコマップの例】



次のページにエコマップ作成シートがあります。

【講義と演習⑤】個を支える地域づくり（前半）

■個人ワーク エコマップ① 最初に訪問する前

現状のエコマップを下に作成してください。

■個人ワーク エコマップ② 会ってから現在

現状のエコマップを下に作成してください。